

支えあう命と人生

阿南中学校 三年

寺澤 一喜

（敬称略）

僕は、命の大切さ、人の優しさ、人の汚さを知っていると思います。まずは、命の大切さです。人は、生きていればなんともなる。人は生きていれば前に進める。だけど、それができない人もいる。生きたくても死んでしまう人もいる。だから、僕たちが生きている時間はとても大切だと思います。僕も前に進める人になっています。

次は、人の優しさです。人は困っている人を助けることができると思います。もしできない人がいたとしても、生き方を変えれば、人を助けられるようになると思います。実際自分が絶望しているときに、親友に助けられました。もし助けられなかったら、自分は死んでいたと思います。ありがとうございます。僕もいつか人を助けられる人になりたいです。

次は、人の汚さです。人を平気で傷つける人はたくさんいます。自分で満足感を得るために。だけど、そんなことは決まてないと思います。心のどこかで、後悔している自分がいると思います。僕も、昔も今もいいと思っている行動でも、時に悪い方向にいつてしまうことがあります。だから、いいと思っている行動でも、少し止まって、考えて行動した方がいいと思います。

僕は、人生の楽しいこと悲しいことうれしいことを知っていると思います。まずは、人生で楽しいことです。人生で楽しいことは、みんなと笑うことだと思います。理由はみんな笑顔になると、雰囲気がよくなるからです。みんなと過ごすこの時間が僕は大好きです。人生で楽しいことは、友達を作る。目標を立てる。友達とどう話すかを考えることだと思います。人生は一度きり。自殺することは決して許されることじゃない。つらいときは、まわりに相談する。人に優しくする。それは、めぐりめぐって自分のためになる。僕みたいに、どう自殺するかなんか考えずに、みんなは前を向こう。どんなに苦しくても、悲しくても、くやしくても。自殺なんかせんほうがいい。生きていたら、命さえあればなんともなる。そこからネガティブに考えるんじゃないかって、そこからどう立ち直るかをポジティブに考えられるかが大切だと思う。今生きている時間は、自分が気付いていないだけで幸せだと思う。

次は悲しいことです。悲しいことは人が死ぬことです。それは自分が死

ぬよりも悲しいことです。だけど、きっと大丈夫。人生は悲しいことばかりではない。人と笑い合える。仲間と悲しむことだってできる。そのつらさを仲間とわかちあえると僕は思う。

次はうれしいことです。うれしいことは、人生は何度でもやりなおせることだと思います。人生、命は一度きりだけど、友達を作る。人生をありったけ楽しむ。挑戦する。人を上げます。ともに悲しみともに笑う。ともに楽しみともに立ち上がることは何度でもできます。人として生まれたことは、一番幸せでうれしいことだと思います。中には、生まれてこれない人もいます。僕も死にかけたことが何度もあったけど、いろいろな人に支えられて今日も僕は生きている。僕は、だれかに支えられなかったら、かくじつのかくじつにこの世界にはいない。みなさんありがとうございます。